

ご照会シート

株式会社西部技研 営業担当 宛

FAX 本 社 092-944-6811
 東 京 03-3356-3065
 仙 台 022-263-3072
 名古屋 052-709-3052
 大 阪 06-6305-6824

貴社名		所属部署名	
貴 名		役職名	
ご連絡先	TEL:	FAX:	

ご照会内容をご記入下さい

納入先： _____

設置場所： 屋外 屋内
防爆 非防爆

処理ガス種類： _____ (例:グラビア印刷排気、半導体製造排気)

VOC名(例:トルエン)	濃度 (<input type="checkbox"/> vol ppm <input type="checkbox"/> ppmC <input type="checkbox"/> mg/Nm ³)
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____
_____	_____

処理ガス風量： _____ Nm³/min Nm³/hr

処理ガス温度： _____ °C

処理ガス湿度： _____ %RH g/kg(DA)

粉塵・ミスト 有 無

濃縮倍率 _____ 倍 (対処理ガス風量比)

ユーティリティー： 電気 _____ V × _____ Hz
 蒸気 _____ MPa(G)
 ガス _____ kPa(G) LPG 13A
 エア _____ MPa(G)

その他ご意見

コピーしてFAX用紙としてご使用下さい



株式会社 西部技研

本社・営業部
 福岡県古賀市青柳3108-3/〒811-3134
 PHONE: 092-942-5711
 F A X: 092-944-6811
 E-mail: info@seibu-giken.co.jp

東京支店
 東京都新宿区新宿3-11-10
 新宿311ビル 8階/〒160-0022
 PHONE: 03-3356-3060
 F A X: 03-3356-3065
 E-mail: tokyo@seibu-giken.co.jp

関東技術サービスセンター
 埼玉県川口市江戸2-9-9/〒334-0074
 PHONE: 048-288-5088
 F A X: 048-288-5087

八王子サテライトオフィス
 東京都八王子市台町2-23-5/〒193-0931
 アーバンハイツ101号
 PHONE: 042-620-5881
 F A X: 042-620-5877

仙台営業所
 宮城県仙台市青葉区上杉1-4-10
 庄建上杉ビル 5階/〒980-0011
 PHONE: 022-263-3071
 F A X: 022-263-3072

名古屋営業所
 名古屋市名東区一社2-6
 サニーヴェイルー社 2階/〒465-0093
 PHONE: 052-709-3051
 F A X: 052-709-3052
 E-mail: nagoya@seibu-giken.co.jp

大阪営業所
 大阪市淀川区西中島5-11-10
 第3中島ビル 6階/〒532-0011
 PHONE: 06-6305-9251
 F A X: 06-6305-6824
 E-mail: osaka@seibu-giken.co.jp

関連会社

Seibu Giken DST AB
 Avestagatan33, SE-163 53
 Spånga, SWEDEN
 PHONE: 46-8-445 77 20
 F A X: 46-8-445 77 39
 E-mail: info@dst-sg.com
 www.dst-sg.com

Seibu Giken America, Inc.
 220 North Park Road Building 6,
 2nd Floor Wyomissing, PA 19610, USA
 PHONE: 1-484-709-2093
 F A X: 1-484-709-2172
 E-mail: information@sgamerica.com
 www.sgamerica.com

西部技研環境設備(常熟)有限公司
 江蘇省常熟市東南經濟開發区金麟路8号
 PHONE: 86-512-5230-3000
 F A X: 86-512-5230-3600
 www.seibu-giken.net.cn

上海営業所
 上海市長寧区延安西路2299号
 上海世貿商厦11M12
 PHONE: 86-21-6236-3005
 F A X: 86-21-6236-3012
 E-mail: info@seibu-giken.co.jp

www.seibu-giken.com



スカイセーブ® S VOC濃縮燃焼装置 SKY-SAVE®.S

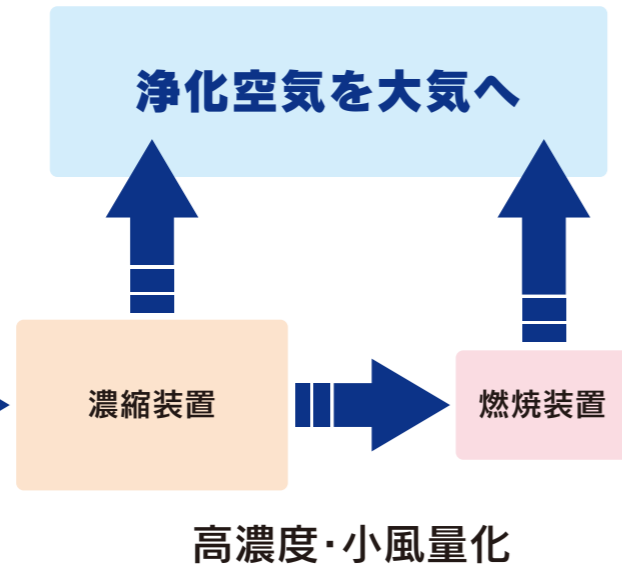
濃縮と燃焼を組み合わせた、効率的なVOC無害化装置



VOC濃縮燃焼装置とは

グラビア印刷乾燥機や塗工乾燥機、塗装ブース等から排気される低濃度VOC含有排ガスを、VOC濃縮装置により高濃度・小風量に濃縮し、濃縮されたVOCガスを燃焼装置により酸化分解して無害化する装置です。

低濃度・大風量排ガス



VOC濃縮燃焼装置の特長

排ガス中に含まれるVOCが低濃度の場合、そのまま燃焼装置により酸化分解して無害化させると、設備が非常に大規模となるばかりでなく、膨大なランニングコストも必要となります。そこで、VOC濃縮装置を燃焼装置と組み合わせることにより、燃焼装置の小型化およびランニングコストの大幅な削減が可能となります。

心臓部のVOC濃縮装置

日本国内および海外において、当社VOC濃縮装置はトップシェアを誇っており、様々なアプリケーションへの導入実績があります。その経験に基づき、お客様へ最適なソリューションをご提案することができます。

導入用途例

- 各種塗装ブース
自動車、船舶、航空機、スチール製品、樹脂、他
- 各種印刷
グラビア印刷、建築材印刷、他
- ドライラミネーター
- 各種電子部品製造
- 半導体製造
- 液晶(LCD)製造
- リチウムイオン電池製造
電極形成工程、電解液注入工程
- 大型研究施設のドラフト排気

装置の安全性

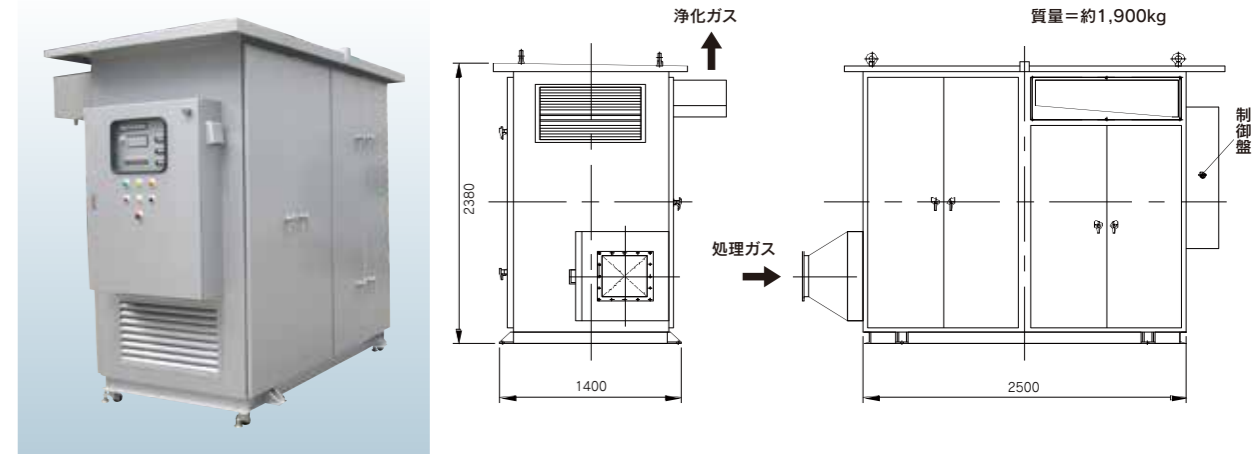
- VOC濃縮ローターの素子は、完全無機で不燃性の合成ゼオライトを吸着剤として使用しておりますので、活性炭濃縮素子と比較して防災上の危険性が非常に低くなっています。
- VOC濃度が非常に高くなった場合は、自己燃焼制御および自動停止が作動する機能を標準装備しています。
- 震度5以上の地震時には、自動停止が作動し、安全に装置を停止させる機能を標準装備しています。

耐被毒触媒も搭載可能

標準の従来型触媒とは別に、有機シリコンや有機リン等の触媒性能低下の原因となる触媒毒に対する耐性を向上させた耐被毒触媒もオプションで搭載可能です。耐被毒触媒は、従来型触媒と比較して3~4倍、或いはそれ以上の寿命延長が可能です。

標準機のご紹介

濃縮と燃焼を一体化した『安全・コンパクト・省エネ・高性能』な標準機も準備しています。電気だけのユーティリティーで稼働させることが可能ですので、簡単に設置・運転が出来ます。



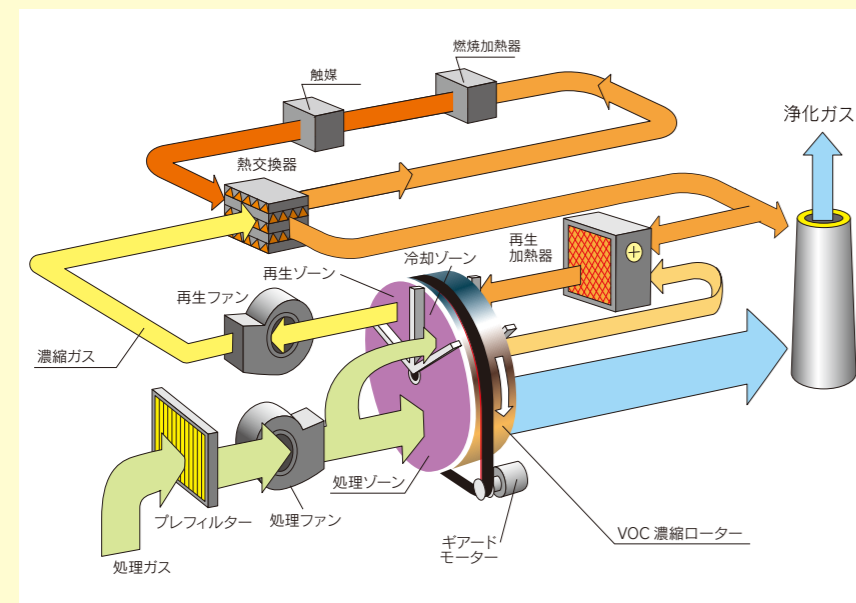
型式	VAS-362-C
処理方式	ゼオライト濃縮+触媒酸化方式(15倍濃縮)
処理風量	60Nm ³ /min(最大)
電源	AC200V×3φ×50/60Hz
消費電力	起動時 28.8kW/自然時 5.3kW
VOC除去効率	全体除去効率：87%以上 濃縮部除去効率：90%以上 燃焼部除去効率：95%以上 【定格条件】 30℃×50%RH IPA 300ppm時 または トルエン 150ppm時
処理ガス温度	40℃以下(目安)
処理可能 VOC	物件毎に検討
処理可能濃度	トルエン換算 150ppm(目安)
オプション	高沸点物質除去用 専用活性炭フィルター
設置場所	屋内/屋外、非防爆エリア

※ 仕様は改善の為、予告無く変更する場合がございます。

VOC濃縮燃焼装置の基本フロー

濃縮 + 触媒燃焼

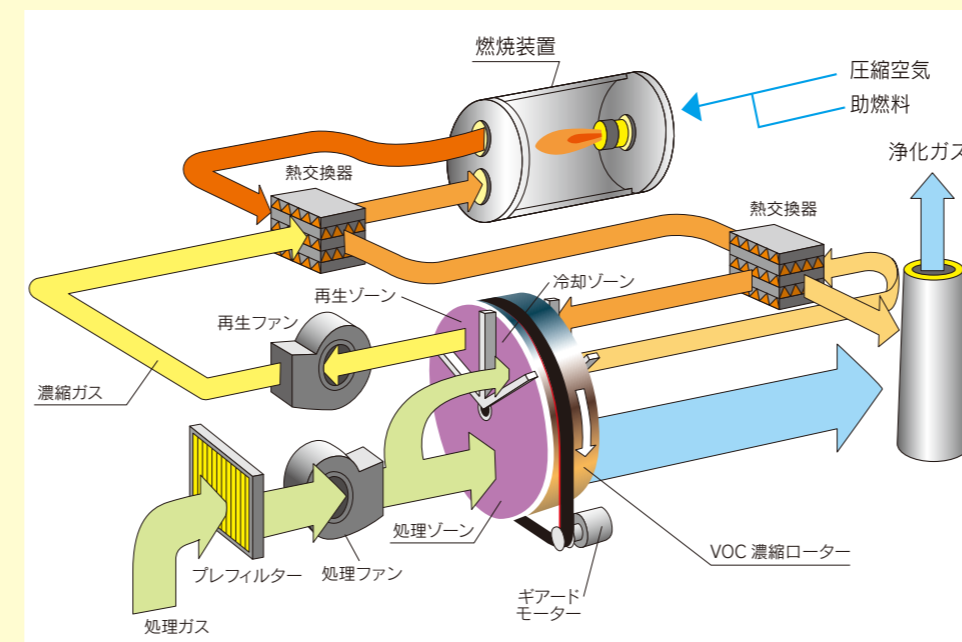
VOC濃縮ローターで高濃度・小風量化された濃縮ガスが熱交換器により予熱され、燃焼加熱器(電気ヒーター・ガスバーナー等)により所定の温度に昇温された後、触媒層に導入され酸化分解されます。また弊社では熱交換器通過後の低温排熱も一部、濃縮ローターの再生熱源として使用できる技術を確立しています(※1)。



用途：電子部品製造排気
風量：220Nm³/min

濃縮 + 直接燃焼

VOC濃縮ローターで高濃度・小風量化された濃縮ガスが熱交換器により予熱され、ガスバーナーにより酸化分解されます。また高温排熱を利用し、濃縮ローターの再生熱源として使用できます。



用途：半導体排気
風量：900Nm³/min

標準機レンタルのご案内

VOC処理装置導入のご検討に当たって、こんな疑問をお持ちではないですか？

- VOC濃度が低いため濃縮して燃焼(酸化分解)処理したいが、濃縮処理は可能か？
- 触媒で酸化分解する場合に触媒被毒(劣化)の問題は無いのか？

実機としての試験使用にも、パイロット機としての試験利用にも最適です。

<お願い>レンタル期間および費用等の詳細に関しましては、別途お問い合わせください。